

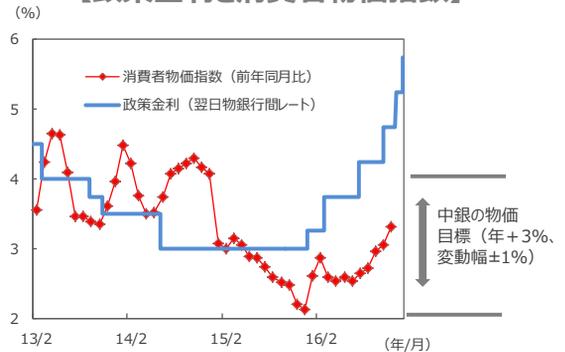
## 今日のトピック メキシコの金融政策（2016年12月）

# 政策金利を0.5%引き上げ、通貨防衛の利上げが続く

### ポイント1 政策金利を0.5%引き上げ 今年5回目の利上げ

- メキシコ銀行（中央銀行、以下中銀）は15日、金融政策決定会合で政策金利（翌日物銀行間レート）を0.50%引き上げ、5.75%とすることを決めました。利上げ幅は市場予想（0.25%、ブルームバーグ）を上回るものでした。
- 14日の米連邦準備制度理事会（FRB）による1年ぶりの利上げを受け、メキシコペソのさらなる下落とそれによる物価上昇圧力を抑えることが目的です。
- 中銀の利上げは、2月、6月、9月、11月に続き、今年5回目です。

【政策金利と消費者物価指数】

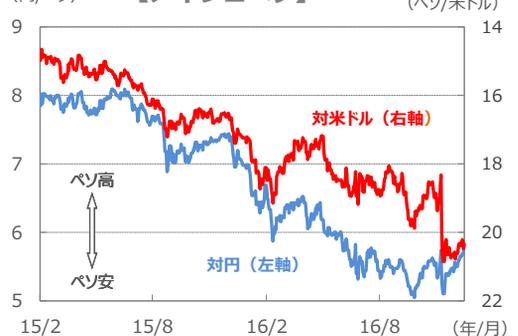


(注) 政策金利は2013年2月1日～2016年12月15日。  
消費者物価指数は2013年2月～2016年11月。  
(出所) Bloomberg L.P.、メキシコ銀行のデータを基に三井住友アセットマネジメント作成

### ポイント2 インフレ圧力を警戒 国内景気の下振れリスクも言及

- 中銀は声明文で、米国の財政・金融政策がドル高を招いていることやエネルギー価格が上昇していることから、グローバルにインフレ圧力が高まっていることを指摘しました。通貨安を背景に先行きのインフレ期待も上昇していると、警戒感を示しました。
- また、米国の通商政策が貿易や投資の妨げになる可能性があるとして、国内経済を取り巻く環境についてリスクを指摘しました。

【メキシコペソ】



(注1) データ期間は2015年2月1日～2016年12月15日。  
(注2) (ペソ/米ドル) は逆メモリ。  
(出所) Bloomberg L.P.のデータを基に三井住友アセットマネジメント作成

### 今後の展開 ペソ相場は落ち着きどころを探る展開

- メキシコの11月の消費者物価指数は、前年同月比で3.31%の上昇と、約2年ぶりの高い上昇率となりました。通貨ペソが米ドルに対して安値で推移しており、輸入品の価格上昇が物価を押し上げたと考えられます。中銀は、インフレ圧力の高まりを警戒し、物価目標（3%）の達成に向けて、今後も利上げを行うと見られます。
- 予想を上回る利上げを受けて、ペソは対米ドルで反発しました（15日、NY市場）。ペソは、トランプ次期米大統領の通商政策や財政・金融政策をにらみながら、当面落ち着きどころを探る展開が見込まれます。

ここも  
チェック! 2016年11月18日 **メキシコの金融政策（2016年11月）**  
2016年10月20日 **ブラジルの金融政策（2016年10月）**

■当資料は、情報提供を目的として、三井住友アセットマネジメントが作成したものです。特定の投資信託、生命保険、株式、債券等の売買を推奨・勧誘するものではありません。■当資料に基づいて取られた投資行動の結果については、当社は責任を負いません。■当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。■当資料に市場環境等についてのデータ・分析等が含まれる場合、それらは過去の実績及び将来の予想であり、今後の市場環境等を保証するものではありません。■当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。■当資料に掲載されている写真がある場合、写真はイメージであり、本文とは関係ない場合があります。